

平成24年11月15日
文部科学記者会、経済産業記者会発表資料



首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY



平成24年11月15日
公立大学法人首都大学東京
多摩信用金庫

首都大学東京と多摩信用金庫が共同研究契約を締結 ～学金連携で新たなまちづくりの可能性を考える～

～ 首都大学東京 都市環境学部 川原晋准教授 ～

公立大学法人首都大学東京（以下、「首都大学東京」：東京都新宿区、理事長 高橋 宏）と多摩信用金庫（本店：東京都立川市、理事長 佐藤 浩二）は、地域まちづくりの実態及び可能性の研究を行うため、共同研究契約を締結しました。首都大学東京では初の金融機関との共同研究契約締結です。

多摩信用金庫 価値創造事業部 地域支援担当まちづくりグループ^{*1}や多摩らいふ倶楽部^{*2}が取り組んでいる地域支援を、首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース川原研究室^{*3}が産業振興、地域振興、観光振興、その他社会貢献などの視点から分析します。また、大学と多摩信用金庫が共同でまちづくりに取り組むことを通して、平成28年3月31日までの期間、新しいまちづくりの可能性を研究します。

研究の目的について

1. 地域に存立基盤を持つ金融機関が有する人脈、公共性等を活かした中・長期的な視点での地域まちづくりの取り組みを検証する。
2. 共同で活動することを通して、金融機関が地域まちづくりに果たす役割や可能性を明らかにする。

特に金融面以外の活動、事業に着目するところが特徴である。

首都大学東京と多摩信用金庫は、平成24年1月31日に産学連携推進に関する協力協定書を締結し、地域中小企業及び地域社会の発展に貢献することを目指して連携活動を実施しています。

今回の共同研究テーマに関連して、首都大学東京と多摩信用金庫は共催で、新たなまちづくりの可能性を地域の皆様と考えるきっかけづくりのために、「多摩の魅力発信講座2012」を、別紙のとおり開催しますので、お知らせいたします。

〔問合せ先〕

公立大学法人首都大学東京 産学公連携センター

TEL (042) 677-2729

多摩信用金庫 価値創造事業部 地域支援担当 まちづくりG

TEL (042) 526-7764

同

多摩らいふ倶楽部

TEL (042) 526-7724

多摩信用金庫 価値創造事業部 地域支援担当まちづくりグループ ※1

まちづくりグループは、魅力ある地域を維持・発展・創造していくために、既存の考え方・つながりはもちろんのこと、多摩地域を構成する住民、事業所、地方公共団体、商工団体、NPO法人や大学等とパートナーシップを結び、共に地域の課題解決に取り組んでいます。

- ① 産業振興（創業・コミュニティビジネス支援、事業承継支援、商工業振興などにおける連携）
- ② 芸術・文化・スポーツ振興（地域で行われる祭やイベントなどへの参画）
- ③ 調査研究事業（地域の景況調査、各種経済データの収集、大学との共同研究など）

◇ウェブサイト <http://www.tamashin.jp>

多摩らいふ倶楽部 ※2

多摩らいふ倶楽部は、多摩信用金庫が企画をしている会員制の倶楽部組織です。多摩地域およびその周辺地域に居住もしくは勤務している方へ快適でイキイキした地域ライフを支援することを理念に掲げています。

具体的には、以下の4つのテーマを柱に様々なサービスを提供しています。

- ① 「健康」 健康や暮らしに係るセミナー、人間ドック等の斡旋、健康電話無料相談サービス
- ② 「学ぶ」 多摩カレッジ（一流講師陣による充実したカルチャースクール）
- ③ 「遊ぶ」 独自に企画した地域性の高いイベントおよびハイク（多摩の散策、大人の社会科見学等）
- ④ 「地域」 情報誌「多摩ら・び」のお届け

◇ウェブサイト <http://www.tamalife.co.jp>

首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース 川原研究室 ※3

川原研究室は、地域の環境や生活の改善運動である「まちづくり」と、地域資源の徹底的な活用による地域経済の自立の方法としての「観光」とを目指す、「観光まちづくり」に取り組んでいます。その際、人々がまた訪れたいと思う都市空間づくりも大事です。ソフトや仕組みの話と都市・建築デザインの両方を考えることを大切にしながら、大きく以下の4つのテーマの研究を進めています。

- ① 地域再生のための循環まちづくりの方法論研究
- ② まちづくり市民事業の研究
- ③ もてなしの建築・都市デザイン
- ④ まちづくり支援手法開発

◇ウェブサイト <http://www.comp.tmu.ac.jp/ssm/index.html>

【トピックス】

川原晋准教授は日本都市計画家協会から「都市計画の理論と実践」による活動を評価して若手の都市計画家に贈られる「楠本洋二賞・優秀賞」を受賞しました。「中心市街地に様々な活動やアクターを呼び込む空間整備と組織づくり～山形県鶴岡市山王商店街まちづくりの10年の取り組み」の理論と実績に対する受賞です。

多摩の魅力発信講座2012

～『大学と地域金融機関のコミュニティとの関わり』～

昨年度、好評を博した「多摩の魅力発信講座」を今年度も継続して開催します。今年度は、「まちづくり」に焦点を当て、「大学と地域金融機関のコミュニティとの関わり」と題して、首都大学東京、多摩信用金庫それぞれのまちづくり支援の実例紹介、将来展望について日本経済新聞社多摩支局長をモデレーターとしたパネルディスカッション付き無料講座を開講します。皆様のお越しをお待ちしております。

■開催日時：平成24年**11月24日(土)** 13:00～15:30 (受付開始12:30)

■会場：首都大学東京 南大沢キャンパス 6号館110教室

■主催：公立大学法人首都大学東京

■共催：多摩信用金庫

■参加費：無料(事前申込みが必要です)

■定員：先着200名(どなたでも参加できます)

参加費無料
要事前登録



■第一部 講演 13:00～14:15

【講演1】13:00-13:25 『多摩をハッピーにするまちづくりのアイデア』

成熟期を迎えた大都市の郊外には豊かな可能性が詰まっています。講師が関わる具体的なまちづくりのプロジェクトや大学での演習の成果をふまえて、多摩地域のまちづくりの可能性や具体的なアイデアをお話しします。

首都大学東京 都市環境学部 准教授 櫻庭 伸



【講演2】13:25-13:50 『郊外都市住民の生活と地域への愛着』

首都大学東京都市環境科学研究科では大学院での学際的かつ実践的な授業の一環として、2010年に立川市内で住民約2千人を対象に地域での生活や意識についてアンケート調査をしました。今回は、その結果をもとにしながら多摩地域での住民意識、とりわけ地域への愛着や考え方の現状についてご紹介します。

首都大学東京 都市環境学部 准教授 山本 薫子



【講演3】13:50-14:15 『多摩信用金庫が取り組むまちづくり支援』

地域が抱える多様な課題を解決するために、市民やNPO、地方公共団体、商工団体、大学などと連携した取り組みを実践しています。地域金融機関として、地域内のネットワークと共に取り組む地域活性化の事例についてご紹介します。

多摩信用金庫 価値創造事業部 部長 長島 剛



■第二部 パネルディスカッション 14:30～15:30

『大学と地域金融機関が協力するまちづくりの展望について』

第一部で紹介した首都大学東京と多摩信用金庫それぞれのコミュニティとの関わりについて、お互いのシナジーの可能性、地域のコミュニティ支援団体がどのように大学や地域金融機関と関わっていくのが良いか、今後の展望について討論します。

日本経済新聞社 多摩支局
支局長 友山 宏済



○モデレーター

日本経済新聞社 多摩支局 支局長 友山 宏済

○パネリスト

首都大学東京 准教授 櫻庭 伸、准教授 山本 薫子、准教授 市古 太郎
多摩信用金庫 価値創造事業部 部長 長島 剛
調布アットホーム 代表 石原 靖之



調布アットホーム 代表
石原 靖之



首都大学東京 准教授
市古 太郎

【内容およびお申込みに関するお問い合わせ】

公立大学法人首都大学東京産学公連携センター 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 ☎042-677-2729

★申込期限：11月21日(水) ①HP (<http://www.tokyo-sangaku.jp/>) から ②または裏面の申込書にご記入の上FAXにてお申込みください。

講師プロフィール

長島 剛氏 (ナガシマ ツヨシ)
多摩信用金庫 価値創造事業部 部長
 1988年多摩中央信用金庫入社
 2002年法人渉外担当
 2009年たましん事業支援センターセンター長、2011年より現職

友山 宏清氏 (トモヤマ ヒロスミ)
日本経済新聞社 多摩支局 支局長
 1992年日本経済新聞社入社 証券部、大阪経済部、神戸支社などを経て
 2012年4月より現職

饗庭 伸氏 (アイバ シン)
首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 准教授
 1993年早稲田大学理工学部建築学科卒業
 2007年首都大学東京 都市環境科学研究所 都市システム科学域 准教授
 府中市景観審議会委員、八王子市まちづくり審議会委員、
 世田谷区都市計画審議会委員、三鷹市まちづくり推進会議委員など

石原 靖之氏 (イシハラ ヤスユキ)
調布アットホーム 代表
 2009年「多摩セカンドライフ大満足事典」(東京市町村自治調査会刊)プロデュース
 2010年中間支援組織「調布アットホーム」
 2010年職業的CB組織「多摩ソーシャル・ライターズ倶楽部」を設立
 2012年一般社団法人「調布アイランド」を設立(同法人専務理事)

市古 太郎氏 (イチコ タロウ)
首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 准教授
 1994年～1997年横浜市役所(技師)
 2000年東京都立大学都市科学研究科博士後期課程修了
 2011年首都大学東京准教授
 東京都広域避難場所調査検討委員会、東京都地域危険度調査委員会など

山本 薫子氏 (ヤマモト カホルコ)
首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 准教授
 2001年東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程(都市社会学専攻)修了
 2001年～2008年山口大学教育学部講師・助教授
 2008年首都大学東京 都市環境科学研究所 都市システム科学域 准教授

会場のご案内

首都大学東京 南大沢キャンパス 6号館110教室



京王相模原線「南大沢駅」
改札口から徒歩5分

お申込み方法

ホームページまたは下記申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。

FAX 042-677-5640

<http://www.tokyo-sangaku.jp/>

多摩の魅力発信講座2012		申込書	
首都大学東京 産学公連携センター 行			
会社名			
部署・役職名			
電話番号	E-mailアドレス		
フリガナ			
氏名			

FAXによるお申込みの場合は、FAX受信をもって受付完了とします。定員に達した場合は、申し訳ありませんがお申込みを締め切ります。その際は、FAX受信後こちらからご連絡申し上げます。ホームページからのお申込みの場合は受付完了メールを返信いたします。

首都大学東京
 TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

【お問い合わせ】

公立大学法人首都大学東京産学公連携センター
 ☎042-677-2729 E-mail:soudanmi@jmj.tmu.ac.jp